

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%			基準を満たし、適切なスペースを確保して支援を行っている。
	2	職員の配置数は適切であるか	100%			利用者人数に応じて職員を配置している。サポートの職員が足りなくならないよう配慮する。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		83.30%	16.60%	構造上難しいが、階段が急で狭い。滑り止め・手すりをつけて対応済み。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100%			朝礼や終礼時にトレーニングの計画、振り返りを行い全職員間で相談を行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%			毎年アンケート用紙をお配りし、集計結果を職員間で共有している。この結果を元に業務改善に努める。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%			実施したアンケートはハッピーテラスホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	33.30%	33.30%	16.60%	必要に応じて第三者委員会が開かれる。評価は行っていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%			本部の企画する研修の他、事業所内でも月に一度勉強会を行っている。外部で開催される研修にも、今後更に積極的に参加していく。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			ハッピーテラス独自のアセスメントツールを使用しつつ、保護者面談を実施し、保護者のニーズや課題を客観的視点から分析している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%			ハッピーテラス独自のアセスメントツールを使用し、保護者からの聞き取りにより客観的に作成している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%			職員同士で話し合いを重ね、子どもに合わせたプログラムを実施している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%			お子様の特性や発達課題に合わせ、毎回のトレーニングに変化をつけて実施しています
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	50%	50%		季節に合った取り組みも実施している。長期休みにはお出かけイベントを実施している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			個別でのトレーニングと共に、小集団での取り組みも適宜行い、個別支援計画に取り入れ支援を行っている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%			朝礼を行い、来所予定の生徒、支援内容、注意事項、職員間での役割分担などを話し合い、確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%			終礼を行い、支援の振り返りやその日の共有事項、翌日の確認事項の共有を行っている。連絡ノートを作成し、常に確認できるようにしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%			支援日誌を作成するとともに、職員間でも振り返りを行っている。記入漏れや遅れがないよう一層気をつけていきたい。
18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%			3ヵ月から6ヵ月に一度、保護者とモニタリングを行い、新たな計画書を作成している。	

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	83.30%	16.60%		初期認定研修で内容を理解できるようにするとともに、トレーニング、各種イベントを行うことで複数の組み合わせを実施している。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	66.60%	33.30%		必要に応じて管理者が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	66.60%	33.30%		保護者様の同意を頂いた上で、学校との連絡連携を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	33.30%	50%	16.60%	現在医療的ケアが必要な児童の利用はない。今後受け入れる場合には、保護者や医師との連携をとっていく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	50%	50%		訪問および電話で情報共有を行い、相互理解に努めている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	50%	50%		月次短信等作成し、情報共有を図っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	33.30%	66.60%		研修会への参加、通所児童の情報共有などにより、助言、研修を受けている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		16.60%	83.30%	感染予防もあり実施していないが、ご要望があれば前向きに検討していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	33.30%	50%	16.60%	管理者が参加し、情報共有している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	83.30%	16.60%		保護者送迎時などに利用者の様子をお話したり、トレーニングを教室で直接見てもらったりしている。定期的な保護者面談でも共通理解を図っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	16.60%	33.30%	33.30%	ペアトレは実施していない。ご要望があれば検討していく。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			契約時に、必要書類を用意し書面に沿って説明を行い、契約後も疑問点がある際にはその都度説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	83.30%	16.60%		定期的に保護者面談を行い、相談に対応している。スタッフで情報共有し、適切な支援へと繋げていく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		33.30%	66.60%	保護者会、父母の会は実施していない。要望があれば実施を検討していく。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			子どもや保護者の方が悩みを一人で抱え込まない様に、相談には適切に応じ、信頼関係を気付くことが出来る様に努めていく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			上尾教室・鴻巣教室と合同で毎月ハッピーテラス通信を発行している。
	35	個人情報に十分注意しているか	100%			職員が業務上知り得た情報を漏らすことがないように、雇用契約に明記するなどの措置を講じている。書類等も鍵付きキャビネットにしまふ、PCにもパスワードを掛ける等の対策もしている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			教室内での活動の様子を月に一度手紙にてお渡ししている。必要に応じて教室での生徒の様子、学校・その他での活動の様子を保護者面談や適宜電話連絡にて確認共有を行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	83.30%	16.60%		今後イベントや勉強会などを行う際には、必要に応じて地域の方にもお知らせしていく。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	83.30%	16.60%		マニュアルの作成をしている。定期的に年2回消防・防災訓練を実施している。今後も計画的に行っていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%			定期的に避難訓練を行い、お子様たちの危機管理能力向上に取り組んでいる。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%			年に一度社会福祉協議会が主催する虐待防止研修に参加し、全職員へ共有を図り、チェックリストを実施する等努めている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	66.60%	33.30%		組織的に決定し、契約時に同意を得るようにしている。児童発達支援計画には必要に応じて記載している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	83.30%	16.60%		利用契約時に確認を行い、アレルギーを把握している。現在、医師の診断書が必要な生徒の利用はない。調理イベントの前に、保護者の方に改めて材料の確認を行っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%			ヒヤリハット事例が起こった場合には当日中に職員間で共有を行うようにしている。